

姫野あつこ市長候補といっしょに 心をこめ市政変えようと訴えました



元気よく訴えました。

応援の議員さんも頑張ってくれました

藤井宇部市議、五十嵐萩市議、四浦光市議など市外から応援に駆け付けた議員が、宣伝カーやハンドマイクで街角の訴え。プラスターも初登場しました



市長選挙前日16日土曜日は、自由に音の宣伝ができる最後の日。

この日の「女性宣伝行動」は、午前・室の木カジルから、午後・尾津のマックスバリューからの出発。姫野あつこ市長候補が「子どもたちのために米軍基地の強化はさせない。子どもたちを支える市政を。高く払えない国保料を引き下げを」と力強く訴えました。10数名のピンクのジャンパーでピンクのノボリはよく目立ちます。周辺の地域を歩きながら

山口県民医連から3人の応援

宇部から3人が応援に駆けつけてくれました。さっそくまだ残っていた事前ビラを2ラウンド配布。さすが働き盛りの3人、パワーがあります。

電話での訴えも次第に拍車がかかっています

姫野事務所では、先生方のOBが全戸の電話作戦。平田地域でも名簿に基づく電話作戦がほほめどがっていたとのことです。

「エッ！共産党が姫野さんを応援しているの」とビックリされる方もいましたが、話をすると納得。

「〇〇さんからも聞きました」「□□さんから言われています」とみんなが頑張り始めた様子が伝わってきます。

選挙期間中は、市民の関心も否応なく高まります。今こそ広くひろく姫野支持をよびかけましょう。

今日から市長選挙本番・全力投球を

ビラ配布、プラスター宣伝、候補者カー、確認団体カー、電話を駆使した支持の呼びかけ

選挙運動期間は1週間。やるべきことをやりきってこそ勝利できます。

本番中に配布する「力にする会」ビラは、「主権者はあなた」と呼びかけ、『基地との共存』は、結局”戦争との共存”とズバリ告発。そして、「くらしの願いを『女性代表』に託してください」と安倍アベコベ暴走政治で苦しむみんなの願いと気持ちに寄り添う呼びかけになっています。

プラスターは、「岩国は自立できる」「艦載機、

米軍住宅ノー」「子どもの未来に戦争はいらない」「女性市長で国保料の引き下げ」「安倍政治は許さない」「主権者はあなた」の6種類です。

選挙の基本は、宣伝で大きく呼びかけながら、一人ひとりに支持をよびかけることです。そして、候補者カーや確認団体カーを元気よく運行すること。

みんなで力を合わせ、やるべきことを、すべてやりきって「姫野あつこ市長」を誕生させ安倍内閣に痛打を！

姫野あつこ『出発式』 きょう午前9時から 姫野あつこ事務所前
●出発式後、中央公民館に移動し、大宣伝行動 駐車は、錦帯橋の河川敷にお願いします。

姫野あつこ「決起集会」 きょう午後5時から 中央公民館

20日 午後7時から 「力にする会」決起集会 中央公民館